通常「**人生で一番大きな買い物**」と言われる「住まい」です。

もちろん、誰もが失敗したくありませんよね。

すると気になるのは、

あったかい？

デザインは？

地震に強い？

おいくら？

エトセトラ、えとせとら・・・

今回は、その「**おいくら？**」に注目したいと思います。

先ず、よく聞かれるのが「坪単価どのくらい？」というキーワード。

「坪」は、解りますでしょうか？

日本の古くからある面積の単位です。

大まかに説明すると畳2枚分が約1坪。

メートル換算で約3.31㎡ほどです。

30坪の家という事は、畳60帖分の床面積があるという事です。

**建物価格を建物の面積（坪）で割るとその坪単価という金額
が出ます。**

例えば建物価格2,000万円で面積40坪（約132㎡）の家なら

2,000万円÷40坪＝50万円/坪

坪単価50万円の家！

となるわけです。簡単ですね。

ちょっと待った！

ここで**大きな間違いをするチェックポイントが2点**あります。

今週は、そのひとつ**建物価格**についてご説明します。

この**建物価格**ってどこまで入っているのでしょうか？

カーテンは？

照明器具は？

冷暖房器具は？

上下水道工事は？

外部配線工事は？

等々

上記のような工事金額を価格に含まない事を**建物本体価格**といいます。

この建物本体価格は、簡単に言うと**住む事ができない箱**の値段です。

住まえるようにするには、**それなりの工事費が別にかかる**という事です。

つまり「坪単価いくら？」と聞いていただいた後に

「その坪単価にどこまで入っているの？」と追加して聞いてみてください。

建物本体価格の坪単価 50 万円でも住むようにするためには、

坪単価 20 万円以上が必要な場合もあります。

建物総額にしる、**坪単価**にしる、**工事内容が違えば、値段が違う**という事にご注意ください。

来週は、もうひとつのチェックポイントについてご説明しますね。